

# 平成28年度市民提案型事業成果報告会を開催しました

2月5日、立佞武多の館にて、今年度の市民提案型事業成果報告会が開催され、事業を実施した団体が、市民提案型事業審査会(金目哲郎会長[弘前大学人文社会科学部准教授])をはじめ、会場に集まった方々に対して、1年間の活動の成果を報告しました。

市民提案型事業は、地域の課題解決や活性化に自主的に取り組む市民団体等に対し、市が支援するもので、今年度は、はじめの一步型が2団体、テーマ設定型が4団体、計6団体が事業に取り組んでいます。

はじめの一步型で「朗読を通して地域の文化を継承しよう活動」を実施した「語る会つがる」の担当者は、郷土愛を育む取組として、地元文化の1つである方言に着目し、地域で方言を守り、伝承していく機運を高めるため、市内各所での朗読会の開催や、語りべ活動を伝承する体制づくりに取り組んだ成果を報告し、今後も地域に密着した活動を深め、朗読・語りべという地域文化の伝承に向けた活動を進めたいと抱負を述べました。

成果発表を行う「語る会つがる」の担当者▶

最後に金目会長が「各団体の報告のキーワードとして、様々な活動を通して、人と人とのつながりが育まれたということが共通の成果であると感じた。今後も市民提案型事業を活用しながら、五所川原をもっと元気にしていくために皆さんの活躍を期待したい」と総括しました。



企画課 内線2154

## 五所川原市民憲章

わたしたちのまち五所川原市は霊峰岩木山を望み、津軽平野を潤し十三湖へ流れる岩木川の恵みに生まれ、豊かな地域資源と長い歴史を誇ってきました。

わたしたち市民は、先人たちの不撓不屈の精神によりつくりあげられた歴史と伝統を受け継ぎ、共に支えあい開かれた平和なまちをつくるため、ここに市民憲章を制定します。

- 1 夢と志をもち、発展する郷土をつくります。
- 1 郷土に誇りをもち、文化のかおるまちをつくります。
- 1 学びを続け、健やかで潤いのあるまちをつくります。
- 1 自然を大切にし、美しく住みよいまちをつくります。
- 1 きまりを守り、互いに助け合い安全なまちをつくります。

### 火災・救急出動概況

五所川原市管内 2月の火災、救急、救助出動件数 (単位:件)

区分	火災		救急		救助	
	月別	累計	月別	累計	月別	累計
平成29年	2	4	175	383	3	4
平成28年	3	5	169	364	2	3
比較	△1	△1	6	19	1	1

全国統一 防火標語 **消しましょう その火その時 その場所で**

五所川原地区消防事務組合消防本部警防課 ☎35-2023(内線1031)

### 人口と世帯数

平成29年2月末 住民基本台帳 ( )内は前月比



人口  
56,449人  
(-72)



男  
25,973人  
(-29)



女  
30,476人  
(-43)



世帯数  
25,477世帯  
(-8)